

# 国際コンテナ戦略港湾 阪神港の動向について

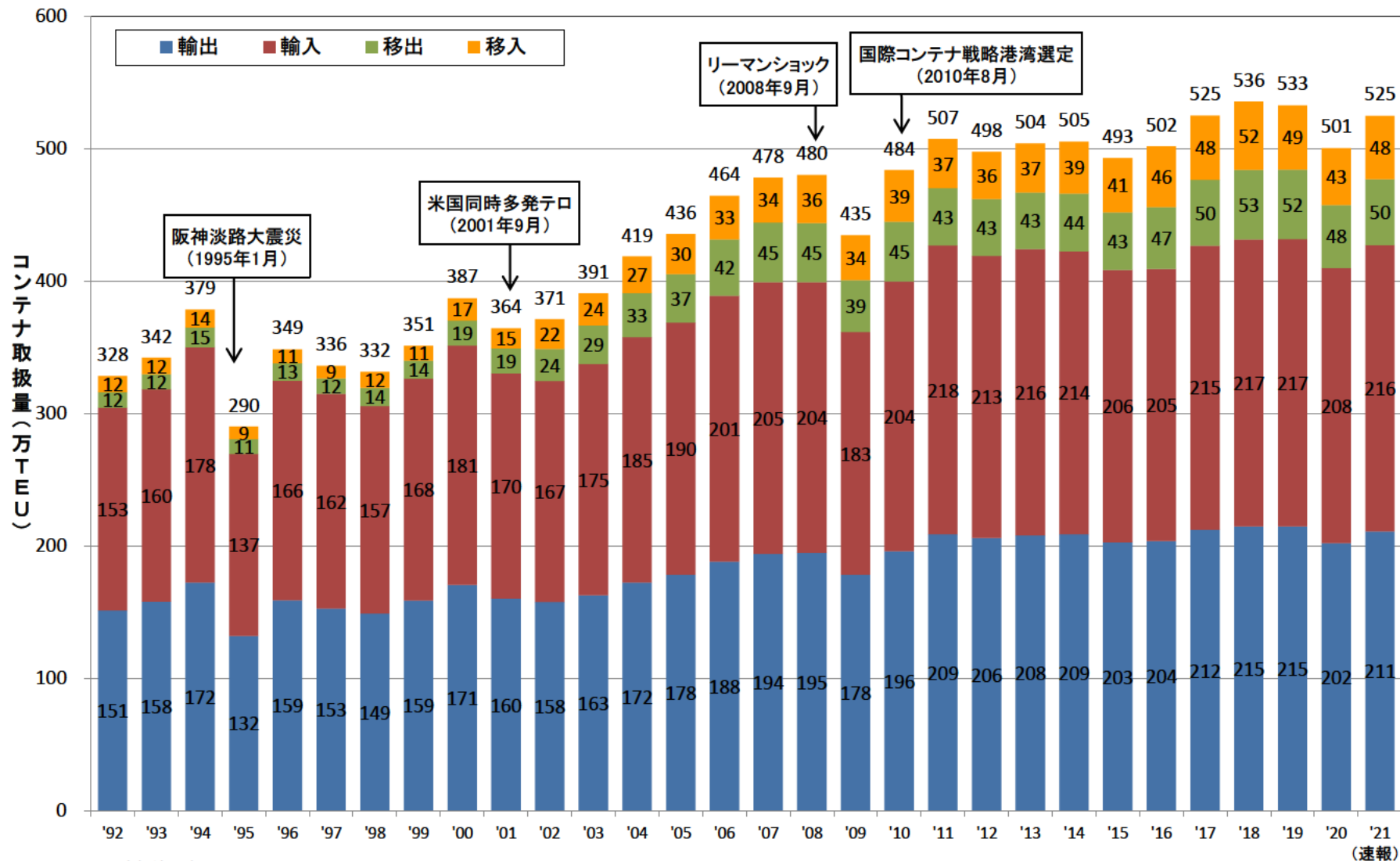
---

国土交通省 近畿地方整備局

令和5年3月

# 国際コンテナ戦略港湾・阪神港のコンテナ物流動向①

- 2020年は米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響を受けて日本全体で取扱量が減少する中、阪神港のコンテナ貨物取扱個数は外内貿合計で501万TEU(対前年比94%)を記録。
- 2021年は新型コロナウイルス感染症の影響等を受けて、525万TEU程度(対前年比105%程度、2019年比99%程度)となる。



出典：港湾統計。2021年分は速報値である。

# 国際コンテナ戦略港湾・阪神港のコンテナ物流動向②

○ 2020年(暦年)の貨物量では輸出・輸入・移出・移入ともに前年比で減少したものの、2021年(暦年)の貨物量ではいずれも対前年比はプラスに転じ、2019年比でもいずれも95%以上となっている。

## 阪神港のコンテナ貨物量の推移

【2019年計:533万TEU】

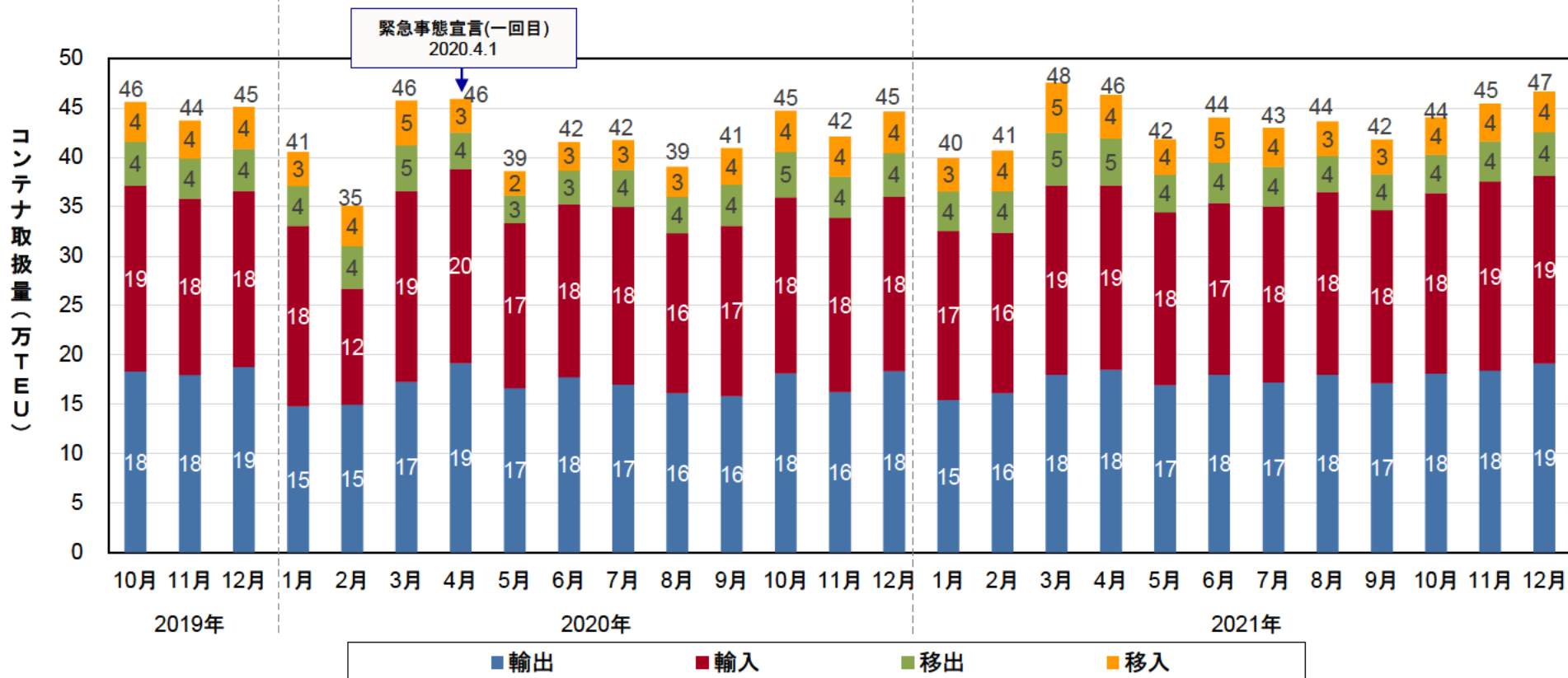
移入: 49万TEU  
 移出: 52万TEU  
 輸入: 217万TEU  
 輸出: 215万TEU

【2020年計:501万TEU(対前年比:94%)】

移入: 43万TEU(対前年比:94%)  
 移出: 48万TEU(対前年比:96%)  
 輸入: 208万TEU(対前年比:91%)  
 輸出: 202万TEU(対前年比:89%)

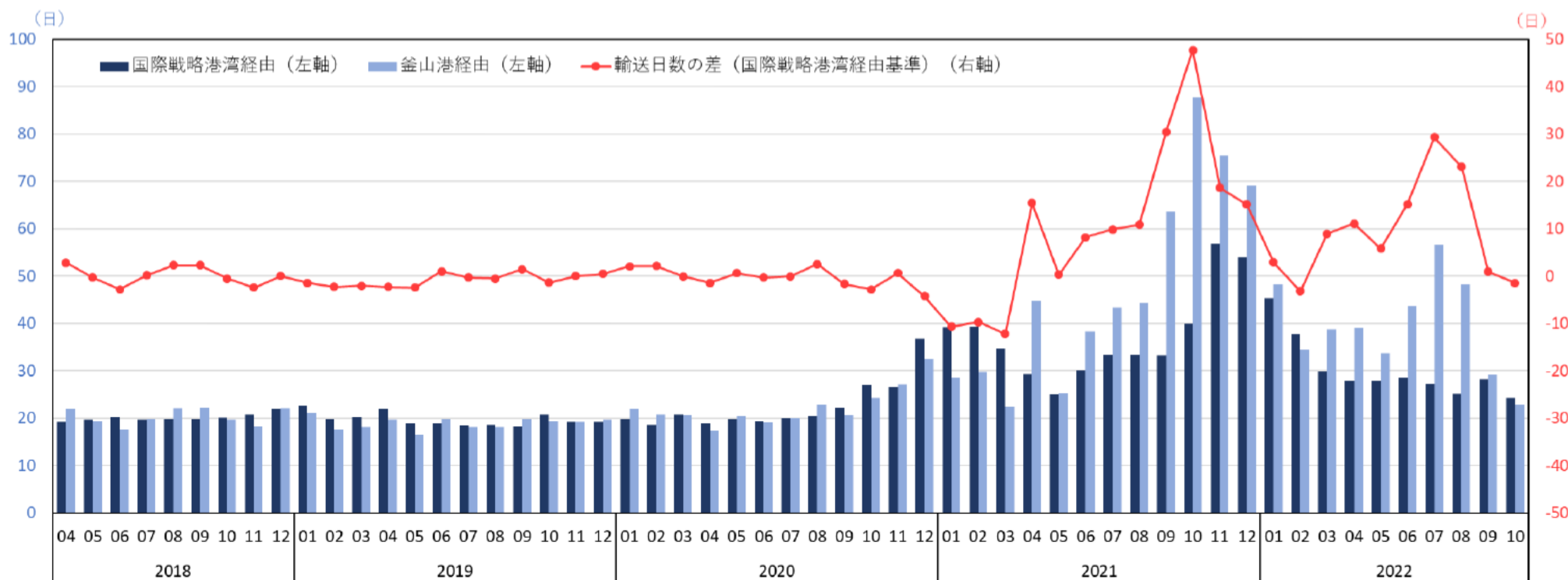
【2021年計:525万TEU(対前年比105%、2019年比:99%)】

移入: 48万TEU(対前年比:104%、2019年比:98%)  
 移出: 50万TEU(対前年比:104%、2019年比:100%)  
 輸入: 216万TEU(対前年比:105%、2019年比:95%)  
 輸出: 211万TEU(対前年比:111%、2019年比:99%)



出典: 港湾統計。2021年分は速報値である。

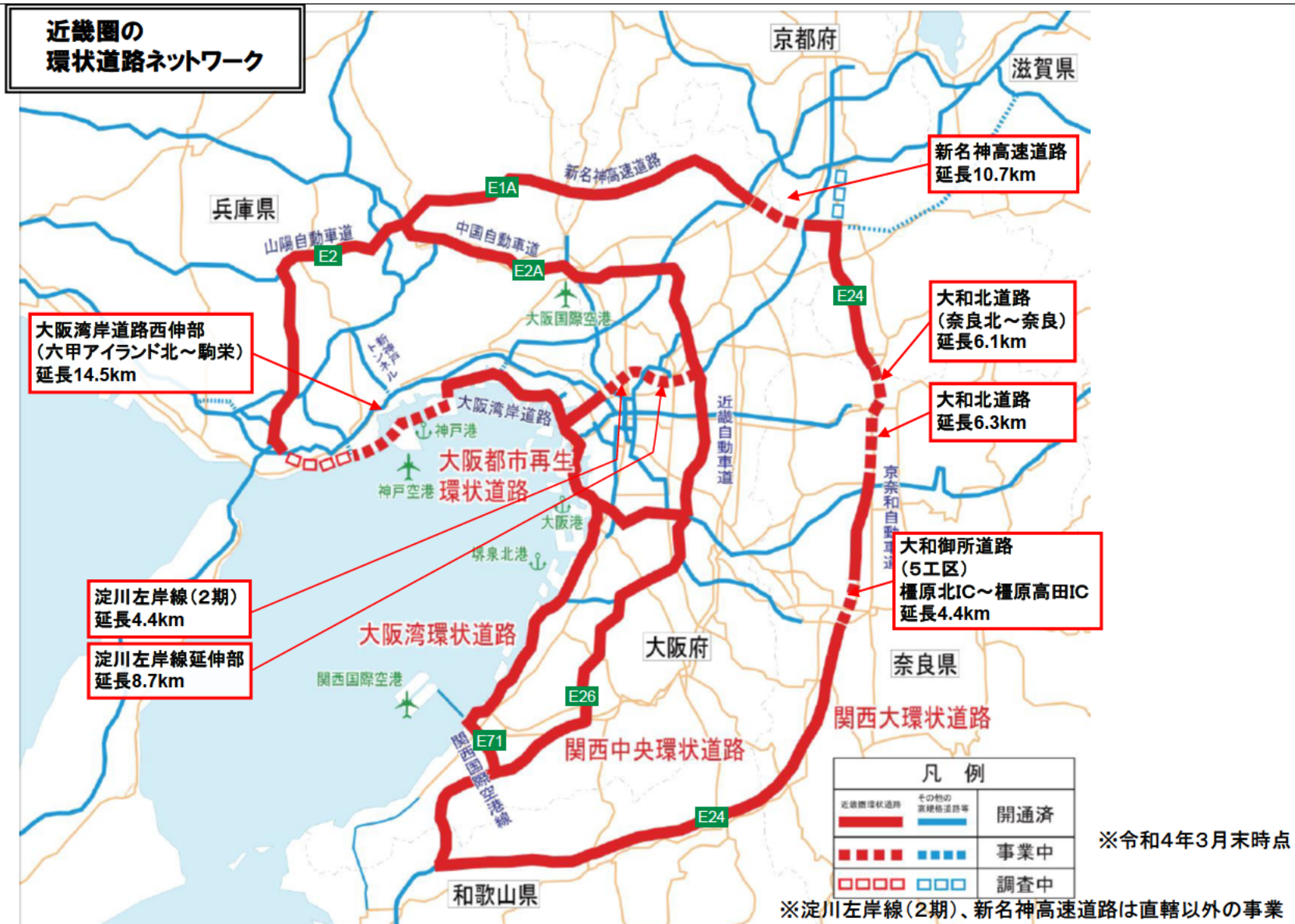
- 日本から北米西岸へのコンテナ貨物の輸送日数は、新型コロナウイルス感染症流行前では20日程度であり、国際コンテナ戦略港湾経由と釜山港経由で大きな差は見られない。
- 新型コロナウイルス感染症流行後は、国際コンテナ戦略港湾経由、釜山港経由ともに輸送日数が増加したが、釜山港経由の方が増加が大きく、輸送日数の差は最大50日程度に達した。



※輸送日数は、日本の地方港(A港)から出発し、北米西岸のB港での荷卸しまでの期間をA港出発時点の月で整理。

# 近畿圏環状道路の整備推進

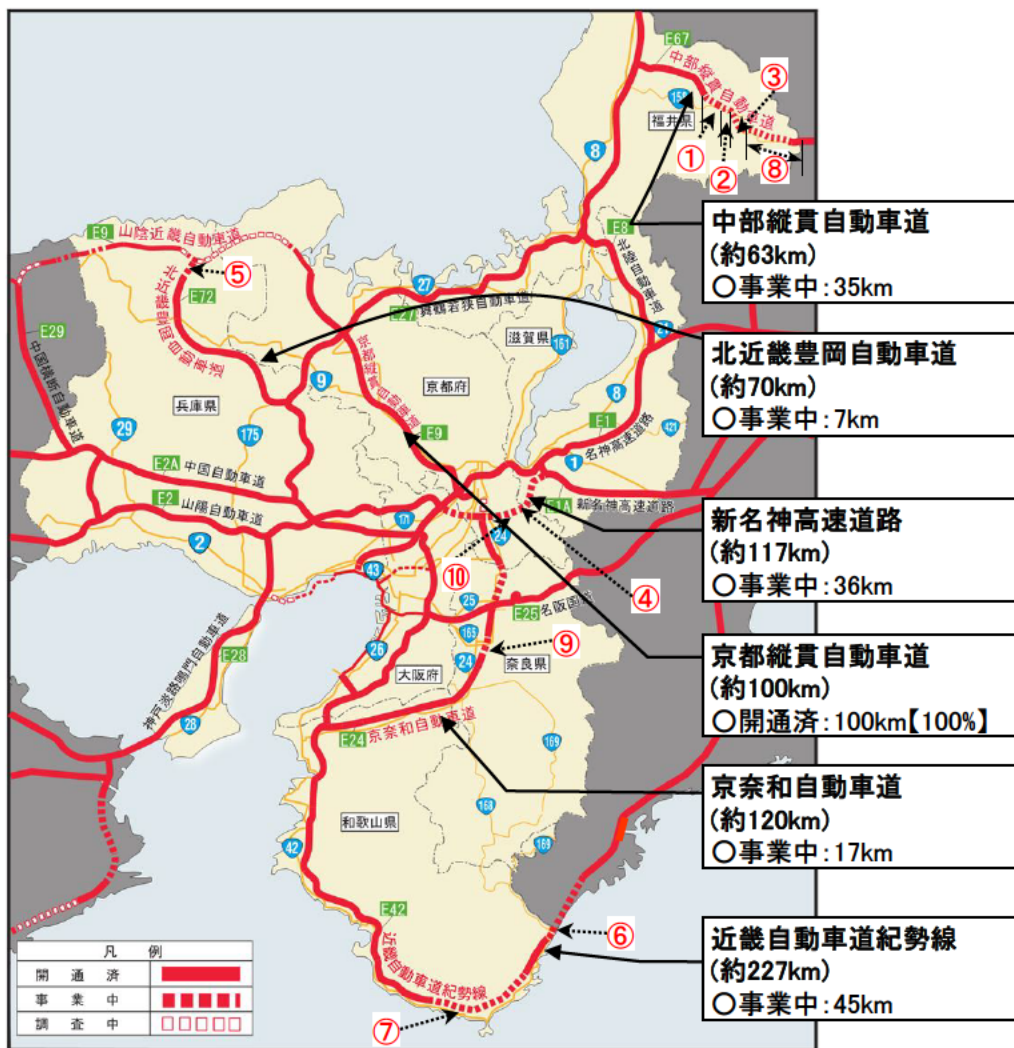
○近畿圏の環状道路ネットワーク整備を推進し、交通渋滞の緩和等による迅速・円滑で競争力の高い物流ネットワークの実現を図る。





# 【参考】近畿圏の道路の基幹ネットワーク整備状況

## ■近畿圏の主な道路ネットワーク等



R5年1月31日 現在

※上記の延長はいずれも近畿地区内の延長。  
※端数処理により、計算が合わない場合がある。

## 今後の主な開通予定

### ■R4年度 R5.3.19開通箇所(予定)

① 中部縦貫自動車道	(大野IC～荒島IC)	5.5km
② 中部縦貫自動車道	(荒島IC～勝原IC)	4.5km

### ■R5年秋 開通箇所(予定)

③ 中部縦貫自動車道	(勝原IC～九頭竜IC)	9.5km
------------	--------------	-------

### ■R6年度 開通箇所(予定)

④ 新名神高速道路	(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC)	25.1km
-----------	----------------------	--------

### ■R6年秋 開通箇所(予定)

⑤ 北近畿豊岡自動車道	(豊岡IC(仮称)～但馬空港IC)	2.0km
⑥ 近畿自動車道紀勢線	(紀宝IC(仮称)～新宮北IC(仮称))	2.4km

### ■R7年春 開通箇所(予定)

⑦ 近畿自動車道紀勢線	(串本IC(仮称)～すさみ南IC)	19.2km
-------------	-------------------	--------

### ■R8年春 開通箇所(予定)

⑧ 中部縦貫自動車道	(九頭竜IC～油坂出入口(仮称))	15.5km
⑨ 京奈和自動車道	(橿原JCT(仮称)大阪方面接続ランプ)	-

### ■R9年度 開通箇所(予定)

⑩ 新名神高速道路	(八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC)	10.7km
-----------	------------------------	--------

- 国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会でとりまとめた「最終とりまとめフォローアップ」(平成31年3月)の政策目標の最終年が令和5年であること等から、本年2月に『新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会』を設置し、これまでの取組成果のレビューや政策の効果を検証するとともに、今後の取組等についてとりまとめる。
- 令和5年2月3日に第1回会議を開催し、これまで3回開催。令和5年夏頃の間とりまとめの策定を目指す。

## ●委員(敬称略)

赤井 伸郎	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授	河野 真人	サントリーホールディングス株式会社サプライチェーン本部 原料部専任部長
赤倉 康寛	国土技術政策総合研究所港湾研究部港湾システム研究室長	志村 力	日産自動車株式会社SCM本部日本物流部部品輸出グループ 主管(兼)日産本牧専用埠頭所長
(座長) 河野 真理子	早稲田大学法学学術院教授	関戸 崇	株式会社クボタ物流統括部長
柴崎 隆一	東京大学大学院工学系研究科レジリエンス工学研究センター 准教授	竹谷 隆	キヤノン株式会社常務執行役員 ロジスティクス統括センター所長
竹林 幹雄	神戸大学大学院海事科学研究科教授	渡辺 敬倫	住友商事株式会社物流管理部長
二村 真理子	東京女子大学現代教養学部教授	人見 伸也	横浜川崎国際港湾株式会社代表取締役社長
山崎 朗	中央大学経済学部教授	外園 賢治	阪神国際港湾株式会社代表取締役社長
遠藤 直也	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会JILS総合研究所 マネジャー	矢岡 俊樹	東京都港湾局長
甲斐 督英	外国船舶協会会長	中野 裕也	横浜市港湾局長
河地 久直	一般社団法人国際フレイトフォワードーズ協会常務理事	磯田 博和	川崎市港湾局長
久保 昌三	一般社団法人日本港運協会会長	丸山 順也	大阪港湾局長
友田 圭司	一般社団法人日本船主協会常勤副会長	長谷川 憲孝	神戸市港湾局長
堀内 保潔	一般社団法人日本経済団体連合会産業政策本部長	堀田 治	国土交通省港湾局長

## ●スケジュール

- 第1回(2/3(金)): 港湾・海運を取り巻く状況、国際コンテナ戦略港湾政策の取組状況
- 第2回(2/24(金)): 京浜港のこれまでの取組と今後について 等
- 第3回(3/6(月)): 阪神港のこれまでの取組と今後について 等

- 第4回(4月): 今度の国際コンテナ戦略港湾政策の方向性について
- 第5回(5月): 間とりまとめ(案)について
- 第6回(6月): 間とりまとめ決定(予定)
- 第7回(R6.1月): 最終とりまとめの決定(予定)、今後のフォローアップについて6